

栃木県南地域 水道問題全国集会 & 水源連総会2018

約半世紀の時を経て思川開発計画(南摩ダム)が今、再び動き出しています。

栃木県南部の2市1町(栃木市、下野市、壬生町)の住民は、地下水100%(安くて美味しい水)の水道水が、思川開発事業により、ダムの水(高くてマズい水)に変わろうとしていることに気がきました…。

「私たちの生活のことは私たちに決めさせて!!」
「高くてマズい水はいりません!!」
「市民の生活を重視して!!」

南摩ダム建設現場・取水予定地点見学

11/24(土)

午後1時00分 JR宇都宮駅 新幹線改札を出たところに集合



南摩ダム建設現場
取水地点(大芦川・黒川)

案内: 伊藤武晴(思川開発事業を考える流域の会代表)

水が貯まらないダムです。ダムの運用計画でも30年間のうち12年は最低水量となることを国も認めています。



午後5時30分 栃木市内のホテル着

親睦会: 大衆割烹 利休 (栃木市万町6-17)



車で15分

11/25(日) 栃木市国府公民館(栃木市惣社町228-1 電話0282-27-3002)

午前9時00分 水源連2018年度総会

栃木県南地域 水道問題全国集会

午後1時15分 記念講演

「新規水源開発事業の不合理性を検証する」

- 講師: 太田正 先生(作新学院大学名誉教授) -

「鬼怒川水害と西日本豪雨災害」

- 講師: 嶋津暉之氏(水源開発問題全国連絡会 共同代表) -

資料代 500円

午後2時40分 現地報告～高くてマズい水はごめんだ～

大木一俊弁護士(三ダム訴訟弁護団)

早乙女正次氏(元栃木県職員)

栃木市・下野市・壬生町住民の取り組み



午後4時00分 閉会

栃木県南地域の水道水をいかす市民ネットワーク 思川開発事業を考える流域の会
水源開発問題全国連絡会

共催

ご連絡・お問い合わせ: 八幡山法律事務所内(電話028-600-5106)

水源連(mizumondai@xvh.biglobe.ne.jp)

高くてマズい水はごめんだ！

栃木市・下野市・壬生町(以下「2市1町」という。)の

地下水100%の水道水を守ろう!!

2市1町の水道水は地下水100%で問題なし

2市1町の水道水は100%地下水です。そのおかげで、2市1町は、安全でおいしくて安い水道水を安定的に提供してきました。現在、水質・水量ともに大きな問題はなく、地盤沈下の原因にもなっていません。

2市1町は河川水を導入する予定

「2030年度に2市1町の水道需要量の35%を地下水から河川水に置き換える」という栃木県の方針に2市1町の首長は賛同しました(ただし、住民も議会も了承しておらず、「決定」ではない。)。河川水を導入する表向きの理由は「2市1町で渇水・地下水汚染・地盤沈下が危惧される」ということです。しかし、その実態は、県が必要もないのに、南摩ダム(2024年度に完成予定)に日量約35000m³(約8万人分)もの水道用水を申し込んでしまったために、その全量を2市1町に使わせようとしているのです。

地下水を正しく理解しよう！

渇水に備える必要？

渇水に強いのが地下水です。雨が少ない年にダムの貯水量が少ないと騒ぐのは、河川水を水源とする自治体です。河川水の導入は渇水対策にはなりません。

地下水汚染に備える必要？

現状の地下水源で十分に安全な水道水が供給されています。2011年の原発事故で放射能汚染が問題となりましたが、2市1町の水源はほとんどが深井戸であり、放射能汚染が及ぶことはありませんでした。

地盤沈下を防止？

県南地域の地盤沈下は、20年前から沈静化しています。水道用地下水の採取は2割のみで、その大半は農業用水が占めています。農業用の地下水採取の減小に伴い、地盤沈下は沈静化しました。

2市1町が河川水を導入すれば、安定供給に逆行するだけでなく、水道料金が大幅に値上がりします。専門家は、2市1町の水道料金が40～60%程度の値上げになると試算しています。

南摩ダムの建設予定地 (南摩川)

南摩川は流域面積が非常に小さく(12.4km²)、小川のような川です。



(11/25会場 栃木市国府公民館)

おいしい水をいつまでも！

栃木市 思川開発事業と栃木市の水道水を考える会
下野市 下野市の水道水を考える市民ネットワーク
壬生町 壬生町の水と環境を守る会
栃木県南地域の地下水をいかす市民ネットワーク